

他の多くの殺虫剤とは違う効き方です!!

稲



ニカメイチュウ



コブノメイガ



イネツトムシ



イネドロオイムシ



イネミズゾウムシ

野菜・果樹



マメハモグリバエ



コナガ



ネギアザミウマ



アブラムシ類



ミナミキイロアザミウマ



ミカンキイロアザミウマ



チャノホソガ



フタテンヒメヨコバイ



ナモグリバエ



チャノミドリヒメヨコバイ



チャノキイロアザミウマ



適用作物

稲、キャベツ、はくさい、だいこん、ブロッコリー、ねぎ、たまねぎ、ほうれんそう、チンゲンサイ、レタス、非結球レタス、かき、くり、びわ、大粒種ぶどう、キウイフルーツ、茶、とうもろこし、ばれいしょ 等

園芸用殺虫剤



パダン[®] SG 水溶剤

パダンは住友化学(株)の登録商標

パダン® SG水溶剤

殺虫剤分類 14

- 有効成分：カルタップ塩酸塩…75.0%
- 性 状：青緑色水溶性細粒

医薬用外劇物

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

適用害虫と使用方法

2022年12月現在の登録内容（太字は2022年11月24日適用拡大）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当りの使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲	ニカメイチュウ	1500倍	60～150g	21日前	本剤：6回 カルタップ：6回（#1）	散 布
	コブノメイガ、イネツトムシ	1500～3000倍	—	浸種前	本剤：1回 カルタップ：6回（#1）	24時間 種もみ浸漬
	イネハモグリバエ					
キャベツ	コナガ、アオムシ、アブラムシ類 ハイマダラノメイガ、ナメクジ類	1500倍	100～300g	14日前	4回	散 布
はくさい	コナガ、アオムシ、アブラムシ類 カブラハバチ類、ナメクジ類			7日前	3回	
チンゲンサイ	ハモグリバエ類、コナガ キスジノミハムシ			14日前	2回	
レタス	ハモグリバエ類、ナメクジ類	1500倍	100～300g	7日前	3回	散 布
非結球レタス	アブラムシ類			7日前	1回	
だいこん	コナガ、アオムシ、アブラムシ類 カブラハバチ類、キスジノミハムシ ハモグリバエ類、ダイコンハムシ			前日	3回	
はつかだいこん	コナガ	1500～3000倍	100～300g	7日前	4回	散 布
なばな	コナガ、アブラムシ類			7日前	3回	
さやえんどう	ウラナミシジミ			7日前	2回	
実えんどう	ナモグリバエ	1500倍	100～300g	7日前	4回	散 布
ブロッコリー	コナガ			7日前	3回	
たまねぎ	アザミウマ類、ハモグリバエ類			7日前	2回	
ねぎ	クロバネキノコバエ類	1500倍	100～300g	7日前	4回	散 布
ほうれんそう	ミナミキイロアザミウマ アシクロハモグリバエ、シロオビノメイガ			7日前	4回	
てんさい	シロオビノメイガ			7日前	4回	
かき	チャノキイロアザミウマ、カキホソガイ イラガ、カキノキマダラメイガ カキノヘタムシガ	1500倍	200～700g	45日前	4回	散 布
くり	モモノゴマダラノメイガ ネスジキノカワガ	1500～3000倍	200～700g	裂果前	3回	
びわ	ナシヒメシンクイ	1500倍		春芽伸長 初期まで 但し、90日前	4回	
びわ(葉)	ナシヒメシンクイ	1500倍		21日前	5回	散 布
大粒種ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ、スカシバ類	1500倍	200～700g	21日前	3回	
キウイフルーツ	キイロマイコガ キウイヒメヨコバイ	1500倍		30日前	3回	
茶	チャノホソガイ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	1500倍		摘採10日前 まで	1回	散 布
とうもろこし	アワノメイガ	1000倍	100～300g	21日前	2回	
飼料用とうもろこし	ツマジロクサヨトウ	1000～1500倍	60～150g	14日前	2回	
はとむぎ	アワノメイガ	1500倍	100～300g	7日前	本剤：6回 カルタップ：7回（#3）	散 布
ばれいしょ	ジャガイモガ若齢幼虫	1500倍	200～700g	7日前	3回	
ホップ	アズキノメイガ、アサノミハムシ	3000倍	100～300g	7日前	2回	
しょうが	アズキノメイガ、アワノメイガ	1500倍	100～300g	7日前	5回	散 布
ガーベラ	マメハモグリバエ	1500倍	100～300g	発生初期	4回	
シクラメン	ミカンキイロアザミウマ	1500倍	100～300g	発生初期	5回	
いぐさ	イグサシンムシガ	1500倍	100～300g	7日前	3回	散 布
ふき	アザミウマ類	1500倍	100～300g	7日前	2回	
ふき(ふきのとう)	アブラムシ類 フキノメイガ	1500倍	100～300g	120日前	本剤：2回 カルタップ：4回（#2）	
くわい	ハスモンヨトウ	1500倍	100～300g	30日前	3回	散 布
さやいんげん	マメハモグリバエ	1500倍	100～300g	前日	3回	
さといも	ネグサレセンチュウ	300倍	—	植付前	1回	30分間 種もみ浸漬
樹木類	シャクトリムシ類	1500～3000倍	200～700g	発生初期	3回	散 布

ペースト肥料と混和して側条施用する場合

作物名	適用害虫名	10a当りの使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲	イネドロオウムシ	100～200g	移植時	本剤：1回 カルタップ：6回(＃1)	ペースト肥料に溶かし、 側条施肥田植機で 施用する
	イネミズゾウムシ	200g			
	コブノメイガ ニカメイチュウ				

#1：浸種前は1回以内、浸種後から直播では移植時又は移植時までの処理は1回以内

#2：水溶剤の処理は2回以内、粒剤の処理は2回以内 #3：種もみ粉衣は1回以内、散布は6回以内

*：収穫物の残留回避のため、その日まで使用できる収穫前日数と本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

パダンの効き方



多くの殺虫剤で効きにくくなった害虫にも効果があります。

使用上の注意<抜粋>



- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- ボルドー液と混用する場合は使用直前に混合してください。
- 本剤を使用した場合には、チオシクロラム又はペンシクロラムを含む剤は使用しないでください。
- 側条施用する場合は次の注意を守ってください。
 - 同一の害虫を防除対象とする育苗箱施用薬剤と併用すると薬害発生のおそれがあるので避けてください。
 - 使用した機械を洗浄する際は、洗浄水が水路等に流入しないよう注意してください。
 - アルカリ性ペースト肥料との混和は有効成分が分解するおそれがあるので、混和可能が確認されているペースト肥料以外との混和は避けてください。
- イネシナガレセンチュウ防除のため種もみ消毒をする場合、催芽種では薬害のおそれがあるので催芽前に処理してください。
- あぶらな科野菜に使用する場合、夏季高温時の苗や軟弱な苗に対しては薬害を生じるおそれがあるので、このような苗には使用しないでください。
- かきに使用する場合は、果実の着色直前以降は薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- かき、大粒種ぶどうにはは勢の弱い場合には薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- ほうれんそうに使用する場合、高温時の散布は薬害を生じるおそれがあるので避けてください。
- ガーベラには品種（パープルレイン、マンボなど）によっては薬害を生じるおそれがあるのであらかじめ薬害のないことを確かめたらうで使用してください。
- キウイフルーツに使用する場合、新葉に薬害（黄変）が生じることがあるので注意してください。
- シクラメンに使用する場合は、あらかじめシクラメンに散布してみて薬害がないことを確かめたらうで使用してください。
- ミナミキイロアザミウマの防除に使用する場合、生息密度が高まると効果が劣るので、初発生を見たらすぐに散布してください。なお、ミナミキイロアザミウマは繁殖が早いので、散布がかけ残しのないよういていねいに行ってください。
- びわのナシヒメシンクイの防除に当たっては、新梢、収穫前、芽かき跡、剪定跡等に食した幼虫を対象に散布してください。
- なす、たばこには薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- 蚕に対しては長期毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用を避けてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。
- 眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 粉末は皮膚に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には不浸透性手袋を着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。
- 付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布等の作業の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動植物（甲殻類、ドジョウ）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池等周辺での使用は避けてください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、使用残液及び容器の洗浄水等は河川等に流さず適切に処理してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

04R12L22P22:ZS

2022年12月作成（全企画画社）

大地のめぐみ、まっすぐくへ
sca GROUP



動画
チャンネルは
こちら！

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号
お客様相談室 ☎ 0570-058-669
農業支援サイト 農薬力 https://www.i-nouryoku.com
住友化学アグロ事業部



住友化学